



森の風と共に大地に生きる

## 農事組合法人 フォレストウィンド津山

### 1 経営内容

#### (1) 栽培技術の特長

- 水稲については飼料米を中心に鉄コーティングによる直播を導入し、低コスト生産を図っている。  
なお、基本技術の励行等により、平成19年度宮城県農林産物品評会玄米の部において農林水産大臣賞を受賞した。
- 新たな収益の柱として露地ぎく栽培に取り組み始め、安定生産技術の確立に努めている。

#### (2) 販売の特長

JA出荷を基本として、地元の道の駅「津山もくもくランド」などでのイベントに積極的に参加し販路拡大を図っている。

#### (3) 経営組織の特長

特定農用地利用規定に基づく特定農業法人であり、地域の主たる担い手として位置付けられており、農地の面的集積が図られている。

#### (4) 労務管理の特長

経営部門ごとに担当制を導入し、効率的な作業体系を確立している。

また、園芸部門の導入等により人手不足が顕在化したことや法人内における次世代の担い手育成を図るため、常時雇用者の確保を行っている。

#### (5) 経営管理の特長

会計担当者がパソコンによる一元管理を行い、適切な労働・コスト管理を実施しているとともに税理士の指導を受けながら適切な会計処理を実施している。

また、各作業実施者が記帳する作業日誌等も様式化し、体系的に管理できるようにした。

#### (6) その他の特長

農地水環境保全隊と連携し、水利施設等の維持管理や地元住民や小学生との生き物調査、消費者との交流（稲刈り、食味体験）に取り組んでいる。

### 2 これまでの経過

#### (1) 法人化するまでの特徴的な取り組み

基盤整備事業の進展に伴い、事前事後転作を実施するために平成17年3月に地域の担い手8戸により津山生産組合が設立され、牧草栽培を開始した。

その後、水田経営所得安定対策等への対応のために、平成19年3月に津山生産組合の構成員で農事組合法人フォレストウィンド津山を設立した。

また、事業採択を契機に設立した任意の土地利用調整組織（アグリセンター）から農用地利用改善組合への組織替え（平成21年6月）を行い、農用地利用改善組合を一階部分、農事組合法人を二階部分とする地域営農システムを確立した。

#### (2) 法人化の動機や法人設立時の特徴的経過、法人化後の変化

当地区は1戸当りの経営面積が23aと小規模・零細農家が多く、安定的な農業経営を実現するには担い手として法人を育成することが必要であるとの考えが地域の話し合いの中から生まれ、それに併せて基盤整備事業が開始された。

地区内の受益面積77haのうち、法人の経営面積は52haで農地集積率は68%となっており、地域の担

## プロフィール

(農業地帯) 中山間農業地域  
(組織形態) オペレーター型  
(エリア) 複数集落  
(農地集積率) 68%

#### 経営概要

水稲30ha、飼料米22ha、露地ぎく60a

#### 主な施設・機械の保有

トラクター55PS1台  
植機8条1台  
マニアスプレッド・色彩選別機  
パイプハウス（200坪）

#### 構成員等

構成員8名、常時雇用1名、パート2名

法人設立年月日 平成19年3月2日

認定農業者認定年月日 平成19年3月6日

出資金 80万円

販売額 2,600万円（平成23年度）

#### 役員名

代表理事 尾張 勝

#### 所在地

〒986-0402 登米市津山町横山字本町178番地3  
TEL.0225-69-2477（FAX兼用）

#### 主な過去の導入事業及び農業制度資金活用

コントラクター事業

い手として重要な役割を果たしている。

### 3 今後に向けて

#### (1) 解決すべき課題と現在検討中の対処方策

- 主食用米と飼料米生産が経営の中心であるため、米価の動向を見据えた低コスト生産が収益確保の鍵となる。そのため直播技術の確立に努めている。
- 露地ぎくについては栽培を開始したばかりなので、生産の安定化を図る栽培技術が必要である。
- 地域農業を維持するという法人の目的を実現するため、外部からの雇用形態による人材の育成を図っていく。

#### (2) 今後に向けての経営戦略

- 水稲については一定の集積がなされており、今後は可能な限り固定費を削減しつつ、直播栽培技術等の確立による高位安定生産を目指すとともに、一般米とは違う特徴ある商品開発・研究を行い、有利販売を目指していく。
- 園芸部門である露地ぎくについては、なお一層の生産拡大を図り、法人経営のもう一つの柱となるよう取り組んでいく。

（調査：登米農業改良普及センター）

#### E-mailアドレス

forestwind@flute.ocn.ne.jp

#### 過去の表彰

平成19年度 宮城県農林産物品評会 玄米の部  
農林水産大臣賞  
平成22年度 東北農政局土地改良事業地区営農  
推進 功労賞 農業法人の部

#### 略図



#### 視察受入条件

- 受け入れ時期・曜日 相談に因る
- 視察料 20,000円
- 申し込み先  
南三陸農協 0225-69-2780  
担当：後藤